

最上川の研究や活動報告

山形 学生ら集い「水環境発表会」



参加者同士が互いの研究や活動報告について意見交換した「もがみがわ水環境発表会」＝山形市・遊学館

美しい山形・最上川フォーラム(柴田洋雄会長)主催の「もがみがわ水環境発表会」が7日、山形市の遊学館で開かれ、学生らが研究発表や活動報告を通して交流を深めた。

今回が6回目で、県内の中高生や大学生、一般合わせて約100人が参加。ポスターセッションでは、山形市内に自生するバイカモの温度耐性に関する研究や、最上川の源流松川における水質調査内容などが紹介され、参加者同士が意見交換した。また、米沢中央高の佐藤五郎副校長が「かわりものの最上川」と題して基調講演した。

昨年度に続き「美しい水辺づくり功労賞」の表彰式も行われ、身近な水辺の環境向上に取り組む3団体を表彰した。受賞団体は次の通り。

日大山形高生物部(山形市)
▽ボランティア・カムロ(真室川町)
▽レインボープラン推進協議会(長井市)